



「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」認定事業所の 障害者雇用にかかる取組事例



事業所名：社会福祉法人福德会

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

- ・ 社会福祉事業として公共的使命を果たすため。
- ・ 障害者雇用を行うことにより業務の効率を上げるため。（人材不足の解消）

2. 障害のある人が従事している主な業務

洗濯、清掃、シーツ交換、食事の後片付け、調理補助

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

障害者雇用に対する会社としての役割を会議等で職員に説明し、理解を得てもらっている。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

- ・ 年2回の個人面談にて意識や業務で困っていることを聞き取りする。
- ・ 業務スケジュールを明確にしている。
- ・ 朝の申し送りを毎日行っていく中で仕事の意識を高める。
- ・ 作業に問題が生じた際にはジョブコーチの支援を受けている。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（ 障害者就業・生活支援センター香取就業センター ）

活用して良かった点

- ・ 作業のマンネリ化からか作業内容に成果が見られなくなっており、しっかりとした業務ができなくなってしまった職員に対し、ジョブコーチの支援が入ったことで作業効率が上がった。
- ・ 挨拶ができない（声が小さい）職員がいたが、申し送りを障害者間で行ってみてはどうかというアドバイスを受け、行ったところ、挨拶ができるようになりとても助かった。